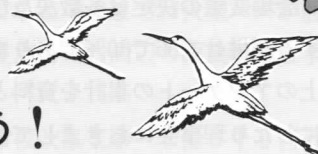




ENJOY ROTARY!



ロータリーを楽しもう!

会長 高橋良士 幹事 佐々木 詰彦 クラブ奉仕 佐藤 衛 職業奉仕 忠鉢 徹 社会奉仕 斎藤 昭 国際奉仕 塚原初男 青少年奉仕 加藤 賢

出席報告: 会員 89 名 出席 54 名 出席率 62.34 % 前回出席率 69.23 % 修正出席数 71 名 確定出席率 82.05 %

会長報告

高橋良士君

第12回定例理事会報告

1. 第6回クラブ協議会

日時 6月12日 午後4時

会場 「新 萌」

協議事項

- 本年度活動報告
- 次年度活動計画

2. 最終例会

6月26日 例会時間変更

午後6時

3. 例会場変更について

例会場変更につきましては先般アンケートを行いまして会員皆様方には大変御協力いただきましたが、その結果について御報告いたします。

回答数は83名で回答率は93.2%であります。

① 会場変更を可とするもの 45 (54.2%)

不可 " 18 (21.7%)

(内、多数決に従う 11)

どちらでもよい 16 (19.3%)

(内、多数決に従う 10)

無回答 4 (4.8%)

② 変更の決定は

多数決で決める 38 (45.8%)

理事会できめる 28 (33.7%)

総会で決める 7 (8.4%)

協議会できめる 3 (3.6%)

無回答 7 (8.4%)

以上のアンケートの集計を要約いたしますと。

(A) 会場変更を可とするものは45 (54.2%) と過半数を占めており、会場変更には不賛成であるが、多数決に従う11とどちらでもよいが多多数決に従う10を加えますと66、80%は会場変更可能を示唆する結果を得たわけでありませぬ。

ENJOY LIFE

微生物と人生

三井 徹

カビ博士の本を読んで私の杞憂が霽れた。私は青カビ入りのブルーチーズが大好きで長年殆ど毎日食べている。その食習慣が発癌につながるかという不安があった。元来日本人には黴、黴菌という言葉は不潔なもの、悪いものの代名詞のような感情がある。また往年、石油関連物質に微生物を増殖させ、菌体中に50%も含まれている蛋白質を精製して食糧を作り「石油蛋白」の名で話題になったが、初癌物質が含まれているとの理由で退けられた。之が懸命になっていた。併現在この技術は重要視され、発癌物質(3、4、ベンツピレン)は通常の食品に含まれる程度よりも遥かに少ないことが判明した。尚味噌汁を常用している人は癌に罹りにくいとも言われているし、近年茸(さるのこしかけ)から作った抗

癌剤は広く用いられている。此ら菌物質に発癌作用はなく却癌の予防になりそうである。翻って微生物の効用を一瞥すると、お酒類は皆酵母やカビの所産でありその風味が妙である、チーズ、味噌、醤油、鰹節、納豆、ヨーグルトなどは昔からの人生の友である。画期的な治療薬抗生剤は土壌中の菌から作られ土壌菌は自然界の新陳代謝に大切な働きをする、人体にも無数の菌が働いていて、その調和が健康を守っている。因に病原菌など害になるものは菌類の中の約1%に過ぎない、最近、航空機、先端産業の機器に用いるアルミニウム、ペークライト、ビニールレンズなどにカビが生えて問題になっているが、研究し解決されている。微生物と人生との関係は広く深いものであることを痛感している。註「カビ博士」微生物学者井上真由美氏は世界的に斬新な研究成果を上げ斯界に貢献している。同氏の父君と私の岳父が親友であったので互いに知己を得た。

エンジョイライフ

(B) 会場変更の決定は多数決及び理事会で決定するが併せて66で80%であります。

以上のアンケートの集計を資料といたしまして教会にわたり理事会におきまして慎重に協議を重ね、更にクラブの諮問機関であるクラブ協議会においても討議を行いました。

最終的に5月29日、臨時理事会におきまして2時間以上に及ぶ討議の末、基本的には、今後会員増強により当会場が狭小となる事は明らかであり、その限界に来つつあること。

第1ホテルは今後の会員数増加に対しても会場はflexibleに対応できるという事から将来の鶴岡クラブの展望を踏まえて第1ホテルへの会場変更との合意を得たのであります。

変更を不可とする会員の方々には、今回の会場変更により、当クラブが将来へ向けての一步躍進であるという御賢察いただき、又、ロータリアン

としての寛容の精神をもって、何卒御理解を賜りますよう、切にお願い申し上げます。

尚、例会場変更は新年度第1例会7月3日の予定で御座居ます。

幹事報告

佐々木 結彦 君

◎ 来信・通知

① 5/30 ライラへのお礼状 竹下数馬氏

② 6/1 ライラへのお礼状

九里茂三ガバナー

③ 6/2 ローター米山奨学会

ガバナーノミニー事務所

④ 6/4 会報送付へのお礼状 田中善六PG

⑤ 6/4 ローターの友6月号・ここが見所

出席報告についてお願い

ガバナー事務所

ゲストスピーチ

鶴岡市平成2年度予算について

鶴岡市長 斎藤 第六氏



本日はゲストとして、市政の概要についてお話を申し上げる機会を与えて戴き光栄であると同時に、新年度予算の大まかなところをご理解戴ければ幸いです。

一般会計の額は239億5千9百万円、前年度より8.1%の増で抑制気味。

○ 主な新規事業

・出羽庄内国際村整備事業－2億2千4百万円

一昨年自治庁のリンデングプロジェクト事業に指定され、国際交流基盤整備の部門で全国650市の中で指定を受けたのは鶴岡と長野県の市と二つだけで今年からいよいよ事業に入る。伊勢横内の羽黒街道すじまた112号線バイパスこの道路沿い

に国際交流センターをつくる。国際民族資料館をつくり、山口さんからアマゾン資料をお借りして展示する。今年は土地の買収費として計上。

・ハイビジョンモデル都市整備－3千1百万円

これからの情報化時代に向けて、市が名乗りを上げて昨年の三月に全国の都市の中から13市が指定を受け、高度情報都市構築を進めて行く。庄内を紹介するビデオをつくり(30分程度)、これからハイビジョンテレビを利用した庄内の宣伝を、特に観光面の宣伝をやりたい。

ゆくゆくはマリカ西館の市民ホール、産振センター、銀座のセントル、庄内空港が完成したらターミナルビルにハイビジョンを設置して一般の方々に公開する。

・東京事務所開設－3千2百万円

4月24日東京の江戸川区に鶴岡市東京事務所を、

1名「東京江戸屋敷」を開設。

- ・「大名行列」保存、「からくり」製作－2千6百万円

鶴岡の伝統のお祭りを賑やかに復活したいということで、ふるさと創成の一環として、庄内神社のお祭りの装束、使う器具機材を整備する。大山の犬祭りの「からくり」がたった1台しかない。前には各町内から5台～6台あり賑やかであったそうで、せめてもう1台新調してはどうかと助成。

- ・コミュニティプラザ管理運営－1千2百万円
- ・海浜清掃機導入－1千4百万円

海水浴の時期になると、海浜が散らかって清掃に苦労している。最近は特に裸足で歩いてビンの割れたので怪我をしたことがしばしばなので、海浜を清掃する機械を導入することにし、砂をふるいにかけて、10センチ程度地中に潜っているごみを集める機械をこの夏購入して今年の夏から活動。

- ・都市計画変更調査－1千5百万円

時代の変遷に伴い、現在の都市計画が時代にそぐわない面が色々でており、都市計画の見直しに必要な調査費として、今年から本格的に計画変更のための調査をする。

○主な重要事業

- ・総合体育館建設－13億3千8百万円

(昭和63～平成3年度 総額およそ22億円)

本年度で本体は完成。これから外回りの工事費として。

- ・新形湯田川線街路事業－1億3千万円

国体と関連。美原町から運動公園を通り湯田川街道に抜ける都市計画道路。国体開催までに小真木原運動公園の前まで大型自動車が自由に通れるような道路を作りたい。63年度から工事に掛かっているが、およそ5億円を見込んでいます。

- ・苗津大山街路事業－1億1千万円

(昭和63年～平成6年度 総額およそ6億円)

国体関連事業、112号線から左折して第一小学校の前を通って入ってくる道路、これが美原町に通じて運動公園に行く交差点(日向文具店の所)

が非常に狭隘で、このままでは大型バスが曲がれないので、交差点を含む周辺の改良事業を手掛けている。

- ・朝陽第三小学校改築工事－8億5千9百万円
(昭和62～平成3年度 総額およそ18億円)

来年で全部完了。

- ・公共下水道事業鶴岡処理区分－18億5千9百万円

・公共下水道事業湯野浜処理区分－7億3千万円
湯野浜温泉には下水道がない。庄内空港開港になると観光客も急激に増えてくるであろう。それに備えなるべく早く下水道を設置。

- ・荘内病院施設・機器整備－9億1千万円
(平成2～3年度 総額およそ16億円)

ベッドが少ないために入院を必要とする患者でも直ぐ受け入れができない。大変な不便心配をかけている。ベッド数が少ないために待機を余儀なくされており、多いときは100名も待機している。常時でも50～60名の待機者がいる。病院として、使命を果たせるのかというお話がしょっちゅう聞かされている。2カ年計画でベッド数を55床増やそう、それに伴って職員の数も医師、看護婦を含めて全部で45名増員をしなければならない。

- ・田川南部簡易水道建設－1億9千万円
(平成元～2年度 総額およそ3億円)

鶴岡市で水道が設備していない所は、田川地区ここだけがまだ水道のない地域で大変不自由をかけている。何故今まで水道を設置できなかったかと申しますと、非常に部落が散在している。しかも戸数が極めて少ない。水源が遠いところから水を持ってこなければならない。近くに無い。このような悪条件が重なって、市も国から援助を戴きながら、市も相当の資金投入するにしても、一戸当たりの負担が今までやってきたような方法で計算すると到底負担には耐えられないような高い水道になる。やりたくともやりかねておった。

色々研究して最も有利な起債を導入する。僻地でありますから農山村地区の特別の起債を当てはめてもらう。

今年のお盆まで大急ぎで仮給水ができるまでもって行きたい。

これが過ぎます鶴岡市は給水上水道の普及率は100%となる。

・上水道排水管改良工事—2億1千万円

昭和8年にできて50数年がたった。当時は資材が殊のほかのため、石綿管を使っていた。それが老朽化して漏水の大きな原因となっている。石綿管の取り替え工事を継続してやっている。まだまだ期間がかかる。

・庄内空港事業

庄内空港の事業は、工事は順調で当初計画は平成4年の国体開催の4月にオープンしたいと計画を進めておりましたが、工事が予想以上に急ピッチではかどりと、今の見通しでは来年の10月には工事全部が出来あがる予想。今年も滑走路の工事を急ピッチでやっており、これから第三セクターである庄内空港ビル株式会社が事業主体として、ターミナルビルの建設、現在その設計を大急ぎでやっている。今年の8月に発注して、来年8月には完成させる見通しで事業を進めている。そして10月の開港に備えようという段取り。

・東北自動車道路酒田線

内陸の方は急ピッチで進められている。庄内側はルート発表は、一昨年10月行われ、鋭意道路公団の方で沿線の測量をやり、大体作業は終わっており、急ぐところ鶴岡地区白山地区は既に土地買

収は終わっており、その他の地区も逐次沿線の地域の方々と、特に地権者の方々と設計協議に入りつつある。設計協議が終わって地元との要望等でできますがクリアして、土地買収については白山地区の場合いざこざなく、短期間で買収計画が終わった経過から見ても何とかスムーズに進行して一日も早く事業着手を期したい。

しかし、完成まで6年とか7年とか要するであろうと見込まれている。

関連して、インターチェンジの要望を続けてきたが、高速道路の路線決定と、庄内空港の事業決定と差があった。庄内空港事業が認可したのは62年9月で、インターの計画がマッチしておれば良かったが、国ではインターは朝日村・鶴岡・酒田地区に計画を決定し、その後から飛行場が正式決定したと言いながらも、それを変更すること、直すことはまかりならんと、大変困っております。それで唯一のやり方として開発インターでやるしか方法がない。開発インターとは、鶴岡・酒田・三川の二市一町で工業団地、宅地造成、流通団地とかいわゆる空港を利用して収益を挙げられるような団地造成をして、売上の利益をもってインターの費用を支弁するやり方。インターの事業費は8億とかせいぜい10億で出来るのに、二市一町で100億円の事業をやらないと8~9億円の利潤が出てこない。その売上額には譲渡所得税がつきものすごい高い単価になってしまう。

ゲストスピーチ

私 達 の 会 社



只今御紹介いただきました山形ケンウッドの永原です。ロータリークラブの皆さんを始め、地元の皆様には日頃から大変お世話になりありがとう

山形ケンウッド 永原 秀治氏

ございます。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、松田さんから例会で何か話せと言う事ですが、この地のトップの人達を前に何を話すか当惑したのですが、企業紹介でも良いということですのでお引き受けした次第です。

さて山形ケンウッドはケンウッドの100%出資の小会社ですので、ケンウッドグループの概要と、その中での山形ケンウッドの位置付け、商品内容、今困っている事の順にお話したいと思います。

御覧いただいたビデオの内容を掻い摘まんで申し上げますと、ケンウッドの発祥の地は長野県の駒ヶ根で、その後事業の拡大につれて今紹介した姿になっている訳です。現在国内生産拠点は3事業所、4生産子会社、海外はフランス、シンガポールと2拠点でありまして、販売拠点は国内52拠点、海外に11販売子会社を持って全世界120ヶ国に向けて事業展開している所であります。

ケンウッドの商品は、家庭で使う。ホームオーディオ（昔で言うステレオ）、車の中で使うカーオーディオ、無線機、電話機、計測機が主力商品でして、その他に気象衛生ひまわりを作って気象予測を行うウェザーセンサー等色々な商品を手掛けています。

その中で山形ケンウッドは、通信機を生産する会社でありまして、ケンウッドの通信機のほぼ100%を生産する、唯一の生産拠点と言えます。生産品目は趣味として楽しむアマチュア無線機、仕事で使う業務用無線機を中心に、昨年からは生産を始めました電話機であります。

概要につきましては、お配りした会社案内の最後のページに書いてありますが、設立は昭和56年7月ですが、それから建設を進めましたので、実際に稼動したのは翌57年4月であります。当時は東北トリオという社内でカセットデッキ（テープレコーダー）を生産していました。その後ケンウッドで生産拠点の再構築が検討されまして、その結果通信拠点に転換することが決まりまして、現在に至っている訳です。

ではなぜ通信機に変更したかと申し上げます。

先ず第1は東京から遠いと言うことであります。輸送費が高い言うことであります。オーディオ商品は競争が激しいですから年々単価が下がってきます。安い割には大きさは大きいですから、結果として輸送費比率は高くなります。一方無線

機の方は小さいハンディ機でも3~4万円しますし、大型機は50万円位しますから相対的に輸送費比率は低くなります。従いまして遠くても輸送費負担が軽く済む、と言う事であります。

第2は労働の質にあります。無線機はオーディオ商品と比較しますと圧倒的に難しい商品です。細かい作業と、正確な測定の連続になります。従って作業者の質が大きく問われます。幸い鶴岡はレベルの高い労働力が確保できますので、この点も大きな要因となります。これは他の地域と比べると相当大きな開きと言って良いと思います。この2つの要因から通信機の生産拠点に転換することになった訳です。

次に商品の説明に入らせていただきます。お配りしました中にカタログがありますので御覧いただきながらお聞き下さい。アマチュア無線機には家の中で使う大型の物と、車の中で使う物、それと携帯用のハンディー機に別れますが、最近は技術的な進歩と手軽さからハンディタイプの商品が急速な伸を示しています。例えばスキーを楽しむ時とか、狩猟の時、山登りの時とか、手軽に持ち歩け、価格も手頃な事から幅広いお客様に使っていただいていますので、アマチュア無線機の中では主力商品となっています。

業務用無線機は、文字通り仕事の時に使う無線機でして、アメリカを中心に海外では、警察、消防、森林警備隊とか、大きな工場内での連絡用に広く使われています。日本では小規模の所を対象に展開していきまして、お酒屋さんとか、クリーニング屋さんとか、修理屋さんとかの、お店と車の連絡用に使われていますし、工事現場でも多く使われています。

電話機につきましては法律の改訂によりまして、規格を満たした商品であれば誰でも売って良い事になりましたので、我社も手掛けるようになったわけです。大別しますと手に持った方の送受信部に線の無い離れていても使える、コードレスタイプと、留守の時に掛かってきた電話を録音する機能とか、特定の人しかつながらないシークレット

機能とか、多くの機能を持った留守番タイプの2種類がありまして、若者を中心に大変な勢いで伸びています。我社に於きましては昨年作り始めていて、生産が追いつかない程好評をいただいております。もう一つデジタル伝送の送受信機も作っているのですが、これは宇宙衛星を使って交信する機械で、衛星を2個ないし3個使います。原理は電波を発射して各々の衛星との距離の差、電波の到達時間の差を利用して、自分の位置を正確に把握し、且つ交信も出来るという、非常に進んだ商品でして、アメリカで販売されています。アメリカは広い国ですし、トラック輸送が主体です。又人の住んでいないところが相当ありますので、輸送会社は自分の会社のトラックがどこにいるか判り、そこに適切に支持ができれば非常に便利です。この商品はこれを満たしますので広く普及するだろうと思います。しかし作るのは非常に難しい商品です。理由は宇宙のかなたから飛んでくる極く弱い色々雑音の混じった電波を、正確に整理して、必要な情報だけを取り出す仕事ですので、極めてむずかしい、再先端の技術が要求されます。中でも高周波デジタル技術は必要不可欠の技術となっています。

こんな商品を毎日生産している訳ですが、更に特徴的な事は、一貫生産工場であることと、技術スタッフが大量に居ると言うことでしょうか。これからお返ししますが、プリント板に、機械を使って、目に見えない位の小さな部品を取り付ける所から始まって、完成品を組立、検査して営業に届けるまでの全ての機能を持っている事にありますし、各々の作業に必要な治具ですとか、図面ですとかを作る技術者が大勢居る事でしょうか。

次に我々電機業界の生産のシフトについて申し上げます。

比較的技術がこなれていて、あまり技術革新が望めない商品、これは作り易くだれでも作れる商品ですし、コスト競争も激しいです。又、貿易摩擦、非関税障壁の対象ともなります商品ですので、安い労働力が確保出来、且つ、貿易摩擦の厳しくない立地条件が必要となりますので、東南アジアを中心とした海外に生産場所を移しています。ケンウッドにおきまして、この類に漏れず、オー

ディオ輸出商品はほとんどシンガポールに移して、今や最大の生産拠点に育っています。

又、技術革新の激しい商品は技術者と情報が決手となりますので、どうしてもそれ等が集まる首都圏になってしまいます。技術者の確保一つを取っても地方都市ではむずかしいと思います。我社に於きましては計測機ですとか、高級オーディオ商品を首都圏で作って、量的には多くありません。どちらかと言うと、研究開発、設計部隊が中心と言う事になります。

では地方都市はどういう所に存在価値があるかと申しますと、その中間と言う事になります。人件費は海外より高くても、むずかしい作業、考えながら、改善しながら進めていく作業、定型化できないような作業、これ等の特性を持った商品を生産する事が一番良いのだらうと思います。この様な商品を、教育程度の高い頭脳と手先の器用さで作り上げていく、いわば製造技術型商品群の生産と言う事になります。我々山形ケンウッドもこれに当たりまして、商品は技術革新が激しいですし、デジタル技術、高周波技術、マイクロコンピュータのソフト開発、で作り込んだ商品ですし、細かい、精密な仕事ですので手先の器用さも要求されます。

教育レベルが高く、手先も器用で且つ勤勉な人材が確保できるこの鶴岡はピッタリ付号する所です。

余談になりますが、東京では新聞、テレビで御承知の通り、人手不足は深刻です。その対策として外国人労働者を使うわけですが、相当な数が入っているなあと身近に感じています。私の東京の住まいは大田区にあるのですが、3~4年前は東南アジア系の方はほとんど居ませんでした。たまに見掛けるとめずらしくて振り返って見たのですが、今では電車の中に必ず4、5人居ますし、町のスーパーでも良く見掛けますから、もう振り返って見るほどめずらしくも無く、極く当たり前になって来ています。知っている人に聞きますと、比較的教育レベルも高く、勤勉で良くやると好評のようです。鶴岡ではそういった作業者は見掛けませんが、早晚その様な時期も来るのかなあと、ふと思うこの頃です。今の所見掛けませんのは、この

地では労働力の確保は出来ているんでしょう、我社もお陰様で作業の方は何とか確保しているのですが、技術者不足は深刻です。

と申しますのも、2年前東京の工場にありました製造ラインを廃止して鶴岡に移しました。それに付随した技術スタッフの主要メンバー約30名を外向という形で連れてきているからです。企業にとってあまり外向社員が多いのは好ましくありません。そこで外向社員の仕事を地元の人達に引き継いでもらって、早く地元の人達の手で運営してもらい、外向社員は帰任しようという考えで進めています。

それにはハイレベルな電子技術者の確保が必要不可欠な条件となります。新卒者の募集ですとか、Uターン技術者の確保ですとか、色々手を打ったのですが、仲々思うにまかせません。

私なりに調べたり、考えた事を申しますと、この地は高校への進学率は全国平均より高いのですが、大学など上級学校へ進学する際の理工系への進学比率、中でも電子、電気系への進学比率は全国平均をはるかに下まわっています。結果としてこの地で、技術者の輩出する絶対量が少なく、それが不足する原因だろうと思います。

これは教育の問題だろうと思います。その一つは、小さい時からの育て方、高校へ、更に大学への進学の際の御両親の助言が相当影響しているんだろうと思います。この地は米所と言う事もあって、裕福ですし、それが為に後継ぎを決める事を第1に考えているようです。その為には地元に残す必要があります。企業として受け皿が少なかったことを思うと当然の事かなあと思っています。下手に理工系を卒業しても地元で職場が無く、都会へ出ざるを得なかったり、一度出るといつ帰るか分からないようでは不安でしょうがないと思います。それなら始めから理工系に進学させない様にした方が良いでしょう。しかし現在はだいぶ様子が変わっています。先程も申しましたように地方都市への生産シフトが着実に進んでいますから、受皿は十分確保されていますし、地元を工業化さ

せ発展させる為には、このチャンスを逃す手はありません。技術者の確保がその成否に掛かっています。長い時間を必要とすると思いますが、地元のトップであります皆様方のお力で、何とかその様な考えに持って行ってほしいと願う次第です。

次に地元で理工学部の大学が無いのが致命的です。地元であれば、進学率も上がるでしょうし、他県からの学生さんの鶴岡に留まる可能性もありますから、絶対量確保という点で大きな効果が有るんだろうと思います。これも大変な事業ですから長い時間掛かるでしょうが、これまた皆さんのお力により、ぜひ実現してほしい所です。

さて、次に困っています事は、部品調達の問題です。私共の商品は、2000~6000点の部品で構成されています。現在は東京で買い付けて送られてくるのですが、輸送費の問題とか、時間ロスとか考えますと、出来れば地元で調達したいと考えまして、動きましたが、残念ながら、技術レベルに於きましても、品質面に於きましても今一步と言う事で、実現出来ておりません。私共最終商品を作りますアッセンブラーとしましては何とかしたいと思っている所です。よくトヨタ王国ですとか、日立城下町とか言われます様に色々な業種が連携しあって、網の目の様に形成されていせん、仲々効率よく行きません。同じ山形県でも内陸は切実な工業志向から、核になる企業を中心となって、技術研究会ですとか、生産性向上の為の勉強会ですとか色々努力されて、今では機械加工、精密加工に於きまして日本で1、2を争う地域に発展しています。

この鶴岡に於きましても、工業化を志向するのであれば、この様に何か意志を持った企業形成の活動をしていただくと大変ありがたいですし、地元発展にもつながるんだろうと思います。

いずれにしても、工業化に向けて発展させ、また生き残りますには、固有技術と情報網と生産力がキーとなりますし、我々は高周波技術、デジタル技術、ソフト開発技術を向上させ、更に生産力を高める努力をして、少しでもお役に立てれば

幸いと思っています。

雑駁な話になってしまいましたし、また失礼な事を申し上げたかも知れませんが、どうかおゆるしいただきたいと思ひます。時間がまいましたので、これで終わらせていただきますが、私共が現在質の高い労働力に支えられて何とか頑張れますのも、この地で仕事が出来たお陰と感謝しています。

ありがとうございました。

◎ 退会挨拶

村上龍男君

先日は中沢進さんと私の送別会を盛大に開催していただきまして感謝致します。お世話になりお返しもできなく申し訳なく思っております。鶴岡におりますので、皆様にお会いする機会があることと存じます。またの機会があれば鶴岡ロータリーに加入したいと思います。

◎ 御礼の挨拶

温海RC 藤谷 隆君

温海RC創立20周年記念日には大勢参加して戴きまして誠にありがとうございました。近く会長が参上してお礼のご挨拶をすることになっております。ご協力に感謝してスマイルします。

委員会報告

出席委員会

斎藤 隆君

○ 年間皆出席

19年間皆出席 市川輝雄君

14年間 " 丹下誠四郎君

5年間 " 高橋良士君

4年間 " 若生恒吉君

○ 5月100%以上出席 28名

200%…佐々木君、碓氷君

175%…佐藤(元)君

150%…秋野忠君、市川君、加藤(賢)君、

皆川君、中江君、奥野君、佐藤(昇)君、

高橋(良)君、高橋(登)君、高田君、

塚原君、富田君

125%…阿蘇君、秋野(昭)君、秋元君、藤川君、五十嵐君、小松君、毛呂君、迎田君、御橋君、嶺岸君、篠原君、斎藤(隆)君、莊司君、

100%…荒井君他37名

親睦委員会

板垣俊次君

○ 6月会員誕生

石黒慶之助君・早坂豊太郎君

高田耕助君・山下政和君

石川一男君・宇野譲治君

高橋登君・秋野昭三君

高橋良士君

○ 奥様誕生

阿部広子様・三浦尚子様

斎藤美代子様・川上朱美様

高橋順様・斎藤和様

日向京子様

スマイル

石黒パスト・ガバナー奥様誕生日のスマイルを頂戴致しました。

ビジター

大場繁次郎君(温海RC)

藤谷隆君(")

阿部光男君(鶴岡西RC)

佐藤拓君(")

高野邦夫君(鶴岡東RC)

19日(火)のプログラム予定

新入会員スピーチ

宇野譲治君

太田浩君